

「生活意識に関するアンケート調査」(第53回)の結果 —— 2013年3月調査 ——

<はじめに>

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本支店や事務所を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めており、その一環として、1993年以降、全国の満20歳以上の個人4,000人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が別途行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計指標としての調査とは異なり、生活者の意識や行動を大まかに聴取する一種の世論調査です。

<目 次>

1. 要 旨	
1-1. 景況感等	2 頁
1-2. 暮らし向き、消費意識	4 〃
1-3. 物価に対する実感	6 〃
1-4. 先行きの地価動向	10 〃
1-5. 日本経済の成長力	10 〃
1-6. 家計の消費行動	11 〃
1-7. 住宅投資	16 〃
2. 集計対象標本の属性分布	18 〃
3. アンケート調査結果の詳細	19 〃

【調査概要】

- ・ 調査実施期間 : 2013年2月7日(木)～3月6日(水)
- ・ 調 査 対 象 : 全国の満20歳以上の個人
- ・ 標 本 数 : 4,000人(有効回答者数 2,347人<有効回答率 58.7%>)
- ・ 抽 出 方 法 : 層化二段無作為抽出法
- ・ 調 査 方 法 : 質問票によるアンケート調査(郵送調査法)

<本件に関する照会先>
情報サービス局総務企画グループ
小野寺、阿部、安城、早川(直通:03-3277-2405)

1. 要 旨

1-1. 景況感等

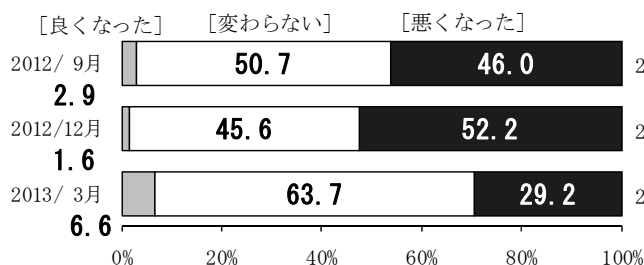
1-1-1. 景況感

景況感のうち、現在（1年前対比）については、「良くなった」との回答が増加し、「悪くなった」との回答が減少したことから、景況感D. I. は改善した。先行き（1年後）については、「良くなる」との回答が増加し、「悪くなる」との回答が減少したことから、景況感D. I. は改善した。

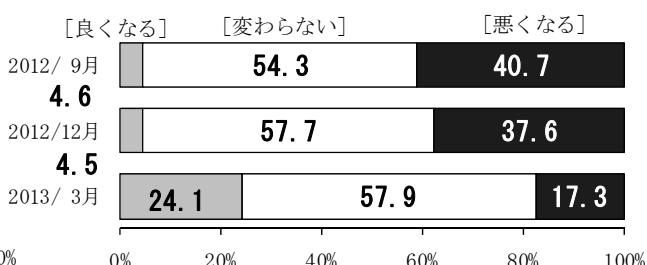
なお、現在の景気水準については、「悪い」と「どちらかと言えば、悪い」との回答の合計が減少し、6割台前半となった。

（図表1）景況感〔Q1、3、4〕

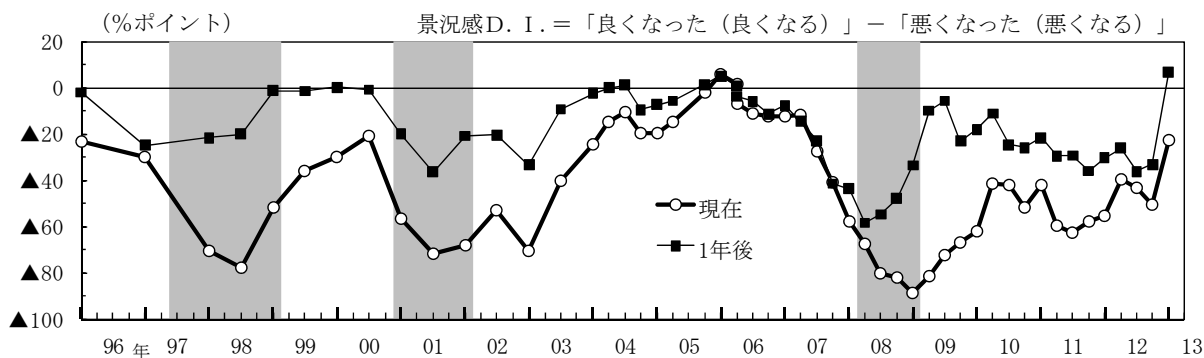
< 現在を1年前と比べると >



< 1年後を現在と比べると >



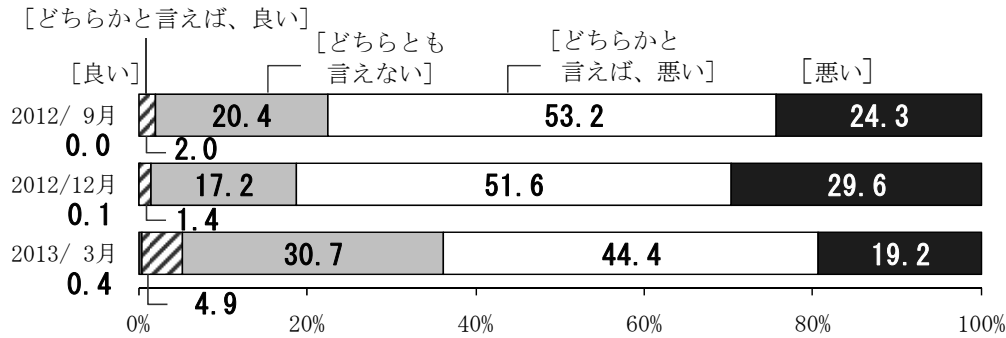
< 景況感D. I. の推移 >



	10/6	10/9	10/12	11/3	11/6	11/9	11/12	12/3	12/6	12/9	12/12	13/3
現在の景況感 D. I. (前回比)	▲41.2 (+20.8)	▲42.1 (▲0.9)	▲51.7 (▲9.6)	▲42.3 (+9.4)	▲59.5 (▲17.2)	▲62.4 (▲2.9)	▲57.5 (+4.9)	▲55.6 (+1.9)	▲39.5 (+16.1)	▲43.1 (▲3.6)	▲50.6 (▲7.5)	▲22.6 (+28.0)
1年後の景況感 D. I. (前回比)	▲11.2 (+6.7)	▲24.7 (▲13.5)	▲25.9 (▲1.2)	▲21.7 (+4.2)	▲29.6 (▲7.9)	▲29.2 (+0.4)	▲35.9 (▲6.7)	▲30.4 (+5.5)	▲26.0 (+4.4)	▲36.1 (▲10.1)	▲33.1 (+3.0)	6.8 (+39.9)

- （注）1. 2006/6月調査までは訪問留置法、2006/9月調査からは郵送調査法（2006/6月の予備調査を含む）。
 2. 2006/6月調査までのD. I. は「良くなっていると思う」 - 「悪くなっていると思う」。
 3. 本調査は1998/3月まで年1回、1998/11月から2004/3月までは年2回、2004/6月からは年4回実施。2005/9月は実施せず。
 4. シャド一部分は、景気後退期。

<現在の水準>

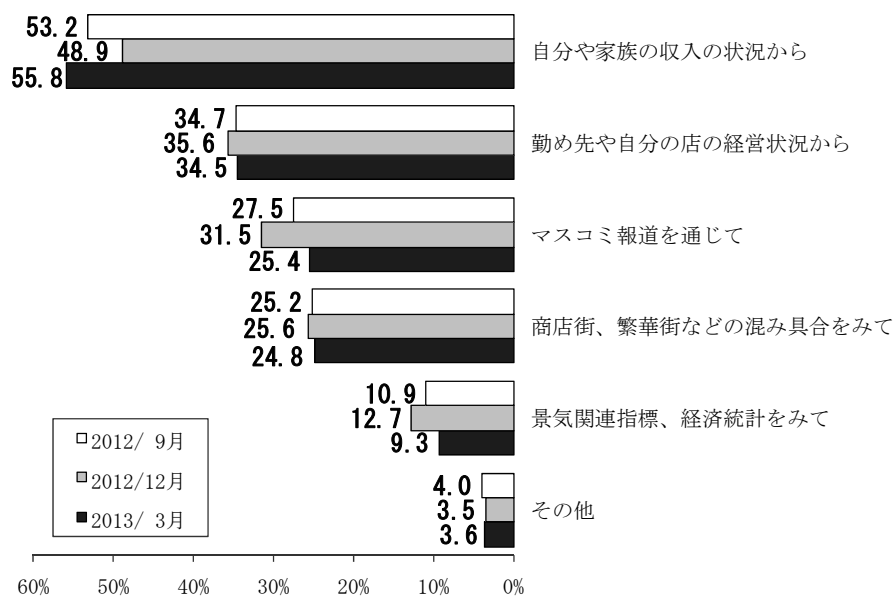


1-1-2. 景気判断の根拠等

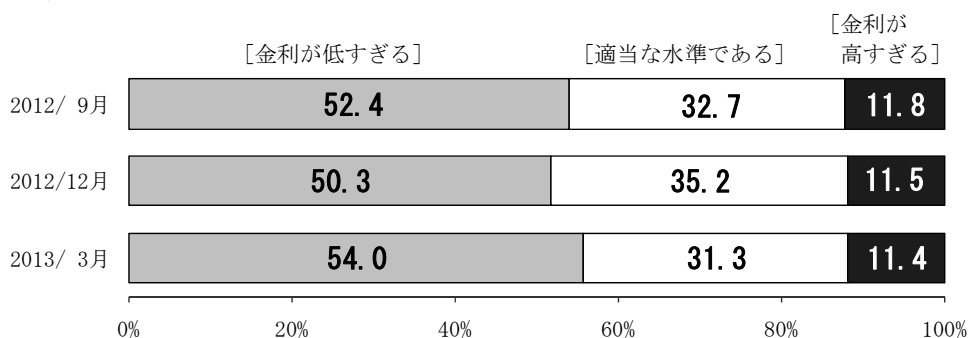
景気判断の根拠については、「自分や家族の収入の状況から」との回答が最も多く、次いで「勤め先や自分の店の経営状況から」、「マスコミ報道を通じて」といった回答が多かった。

金利水準についての見方は、「金利が低すぎる」との回答が増加し、「適当な水準である」との回答が減少した。

(図表 2) 景気判断の根拠 (2つまでの複数回答) [Q2]



(図表 3) 金利水準についての見方 [Q5]

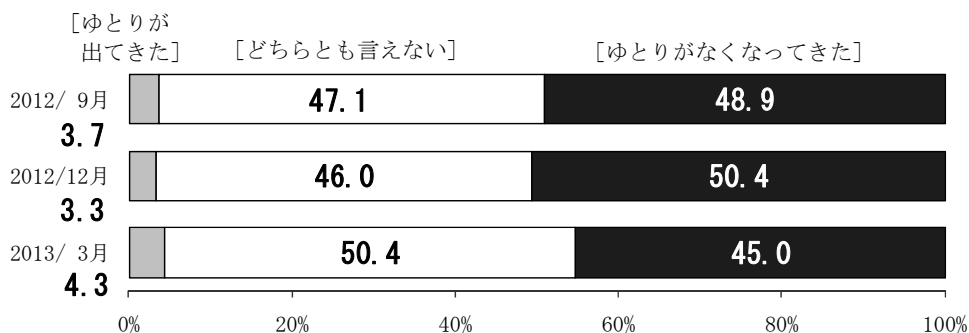


1-2. 暮らし向き、消費意識

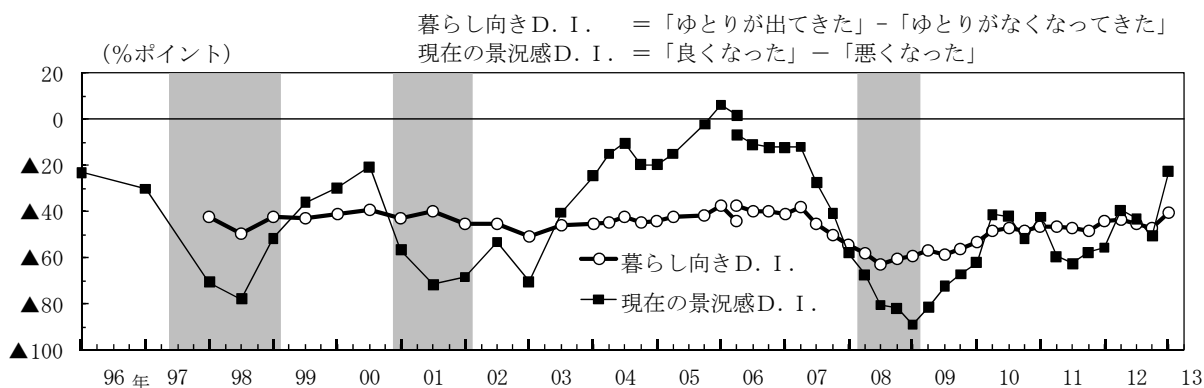
1-2-1. 現在の暮らし向き

現在の暮らし向き（1年前対比）については、「ゆとりが出てきた」との回答が増加し、「ゆとりがなくなってきた」との回答が減少したことから、暮らし向きD. I. は改善した。

〔図表4〕現在の暮らし向き〔Q6〕



<暮らし向きD. I. の推移>



	10/6	10/9	10/12	11/3	11/6	11/9	11/12	12/3	12/6	12/9	12/12	13/3
暮らし向きD. I. (前回比)	▲48.0 (+4.9)	▲46.8 (+1.2)	▲48.1 (▲1.3)	▲46.2 (+1.9)	▲46.4 (▲0.2)	▲46.8 (▲0.4)	▲48.0 (▲1.2)	▲44.3 (+3.7)	▲43.4 (+0.9)	▲45.2 (▲1.8)	▲47.1 (▲1.9)	▲40.7 (+6.4)
現在の景況感D. I. (前回比)	▲41.2 (+20.8)	▲42.1 (▲0.9)	▲51.7 (▲9.6)	▲42.3 (+9.4)	▲59.5 (▲17.2)	▲62.4 (▲2.9)	▲57.5 (+4.9)	▲55.6 (+1.9)	▲39.5 (+16.1)	▲43.1 (▲3.6)	▲50.6 (▲7.5)	▲22.6 (+28.0)

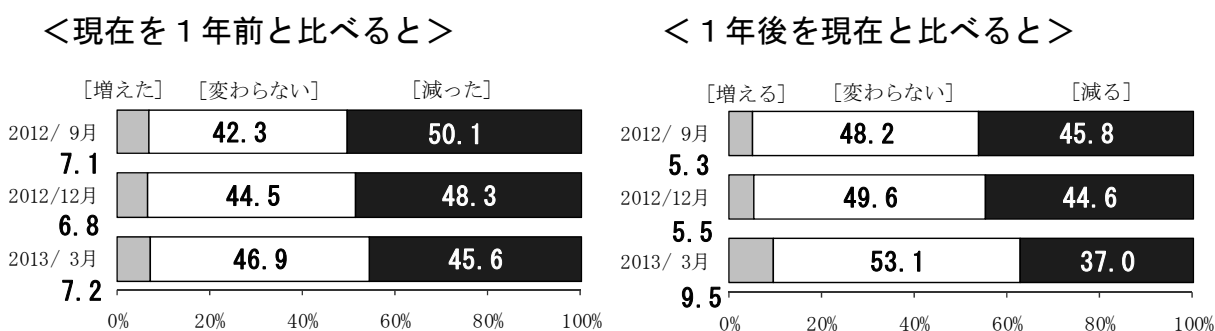
- (注) 1. 2006/6月調査までは訪問留置法、2006/9月調査からは郵送調査法（2006/6月の予備調査を含む）。
 2. 2006/6月調査までの景況感D. I. は「良くなっていると思う」 - 「悪くなっていると思う」、暮らし向きD. I. は「どちらかと言えば、ゆとりが出てきたと思う」 - 「どちらかと言えば、苦しくなってきたと思う」。
 3. 本調査は1998/3月まで年1回、1998/11月から2004/3月までは年2回、2004/6月からは年4回実施。2005/9月は実施せず。
 4. シャドー部分は、景気後退期。

1-2-2. 収入・支出

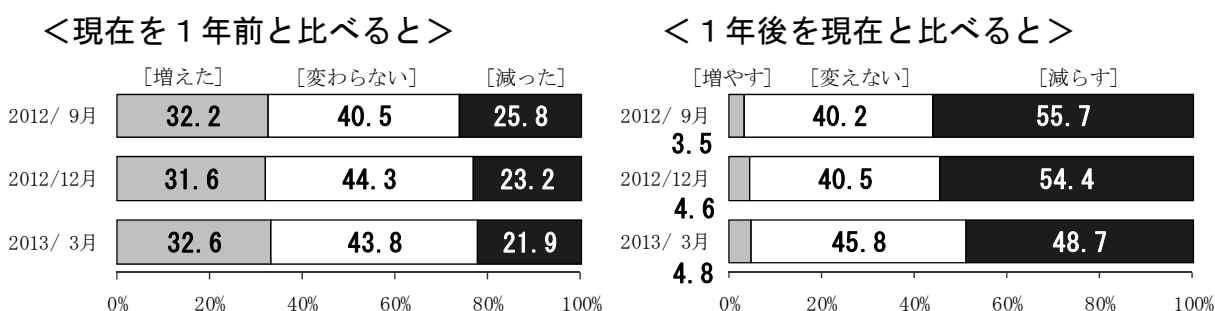
収入の増減については、実績（1年前対比）は、「変わらない」との回答が増加し、「減った」との回答が減少した。先行き（1年後）は、「増える」、「変わらない」との回答が増加し、「減る」との回答が減少した。

一方、支出の増減については、実績（1年前対比）は、「増えた」との回答が増加し、「変わらない」、「減った」との回答が減少した。先行き（1年後）は、「変えない」との回答が増加し、「減らす」との回答が減少した。

（図表5）収入〔Q7、8〕



（図表6）支出〔Q9、11〕

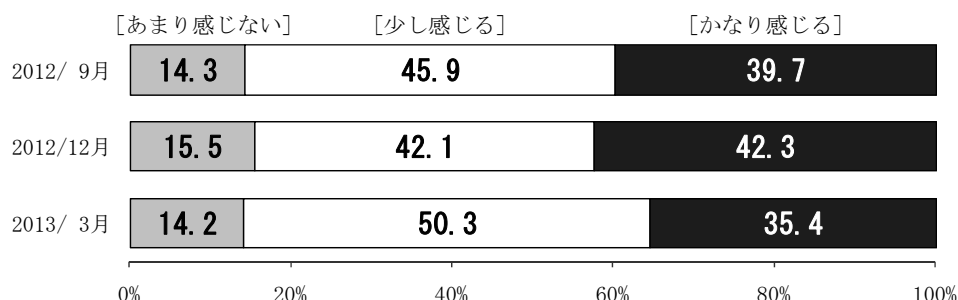


1-2-3. 雇用環境

1年後を見た勤労者^(注)の勤め先での雇用・処遇の不安については、「少し感じる」との回答が増加し、「あまり感じない」、「かなり感じる」との回答が減少した。

(注) 勤労者：会社員・公務員（会社役員を含む）およびパート・アルバイトなど。

（図表7）1年後を見た勤め先での雇用・処遇についての不安（勤労者）
〔Q20<うち勤労者>〕



1-3. 物価に対する実感

1-3-1. 現在の物価

現在の物価^(注1)に対する実感(1年前対比)は、『上がった』^(注2)との回答が増加し、「ほとんど変わらない」、『下がった』^(注3)との回答が減少した。

また、1年前に比べ、物価は何%程度変化したかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値(+2.6%<前回:+2.0%>)、中央値(+0.2%<前回:0.0%>)ともに上昇率が前回比拡大した。

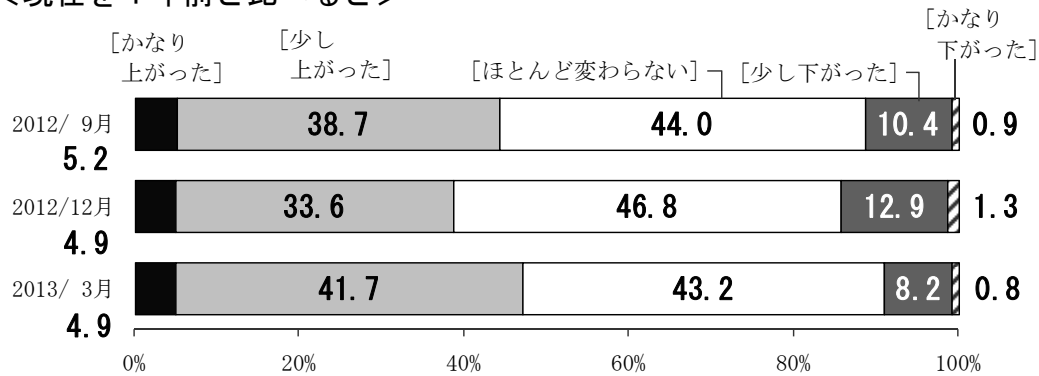
(注1)「あなたが購入する物やサービスの価格全体」と定義。

(注2)『上がった』は「かなり上がった」と「少し上がった」の合計。

(注3)『下がった』は「かなり下がった」と「少し下がった」の合計。

(図表8) 現在の物価に対する実感 [Q12、13]

<現在を1年前と比べると>



<1年前に比べ現在の物価は何%程度変化したと思うか>

	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
12/9月	+2.7%	0.0%
12/12月	+2.0%	0.0%
13/3月	+2.6%	+0.2%

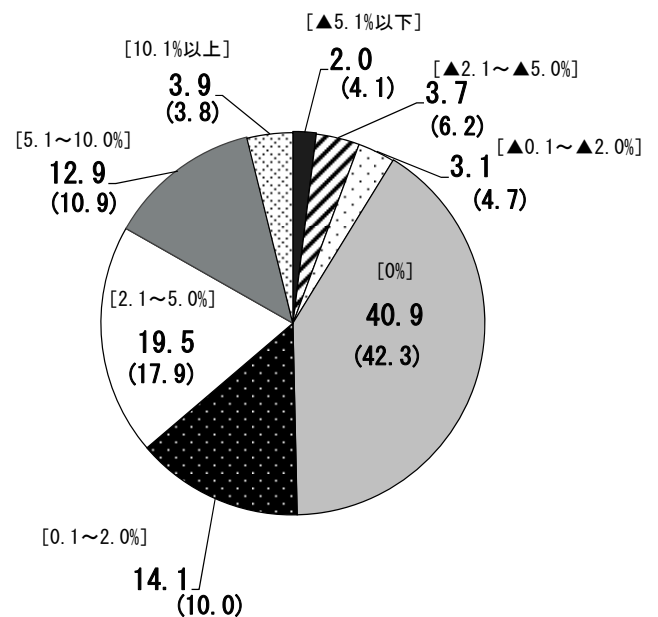
(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。

なお、全サンプルの単純平均値は、+2.7%
(前回調査<2012/12月実施>:+2.1%)。

(注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

<今回調査の回答の分布>

()内は前回調査(2012/12月実施)の結果



1-3-2. 1年後の物価

1年後の物価については、『上がる』^(注1)との回答が増加し、「ほとんど変わらない」、『下がる』^(注2)との回答が減少した。

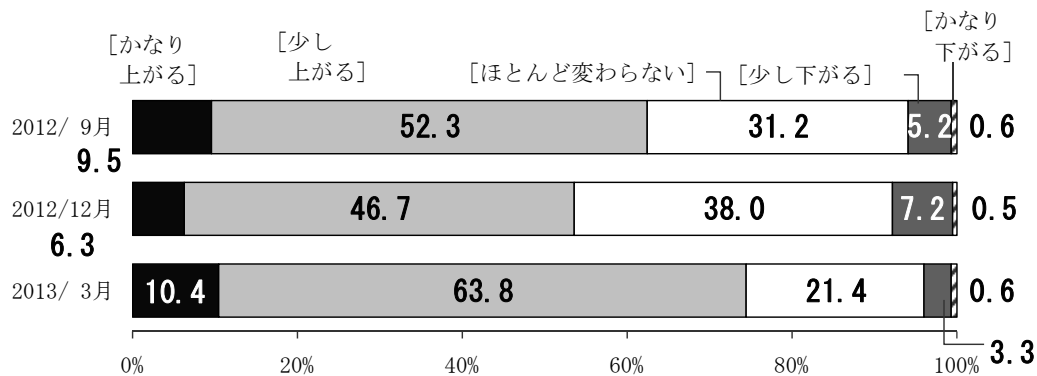
また、1年後の物価は現在と比べ何%程度変化すると思うかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値(+4.0%<前回:+3.0%>)、中央値(+3.0%<前回:+1.0%>)ともに上昇率が前回比拡大した。

(注1)『上がる』は「かなり上がる」と「少し上がる」の合計。

(注2)『下がる』は「かなり下がる」と「少し下がる」の合計。

(図表9) 1年後の物価に対する見方 [Q14、15]

< 1年後を現在と比べると >



< 1年後の物価は現在と比べ何%程度変化すると思うか >

	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
12/ 9月	+ 3.9 %	+ 3.0 %
12/12月	+ 3.0 %	+ 1.0 %
13/ 3月	+ 4.0 %	+ 3.0 %

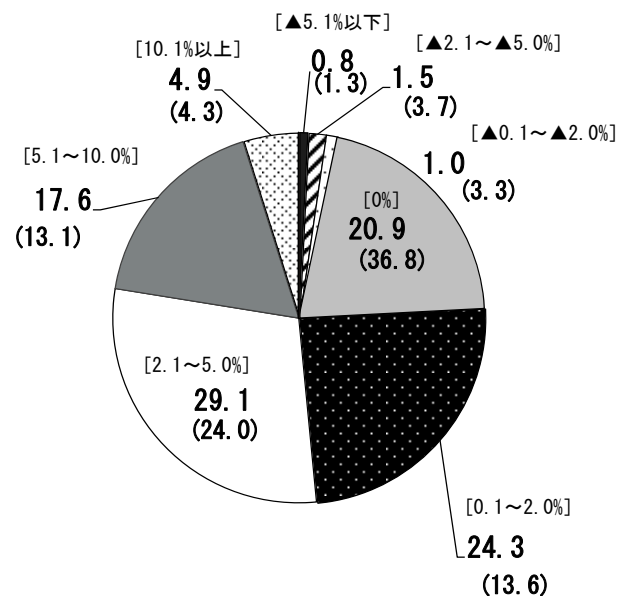
(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。

なお、全サンプルの単純平均値は、+4.1% (前回調査<2012/12月実施> : +3.1%)。

(注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

< 今回調査の回答の分布 >

()内は前回調査(2012/12月実施)の結果



1-3-3. 5年後の物価

5年後の物価については、『上がる』^(注1)との回答が増加し、「ほとんど変わらない」、『下がる』^(注2)との回答が減少した。

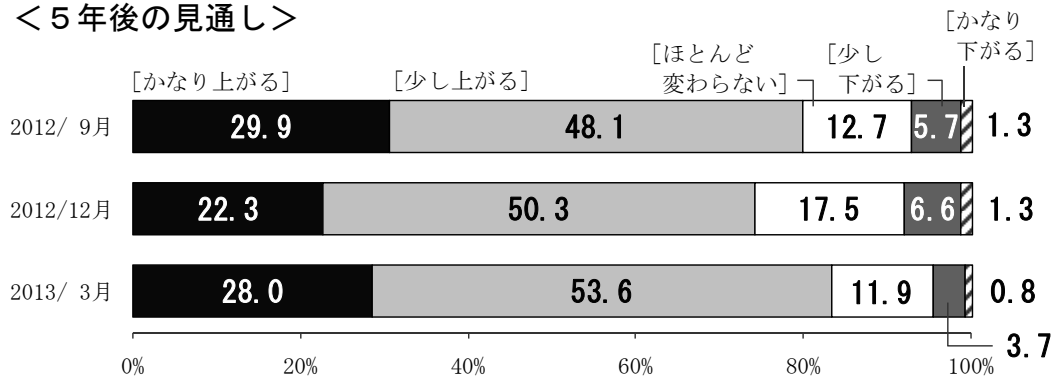
また、これから5年間で物価は現在と比べ毎年、平均何%程度変化すると思うかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値(+4.0% <前回: +3.8% >)は上昇率が前回比拡大し、中央値(+2.0% <前回: +2.0% >)は上昇率が前回比横ばいとなった。

(注1)『上がる』は「かなり上がる」と「少し上がる」の合計。

(注2)『下がる』は「かなり下がる」と「少し下がる」の合計。

(図表10) 5年後の物価に対する見方 [Q16、17]

<5年後の見通し>



<5年後の物価は現在と比べ毎年、平均何%程度変化すると思うか>

	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
12/9月	+4.4%	+3.0%
12/12月	+3.8%	+2.0%
13/3月	+4.0%	+2.0%

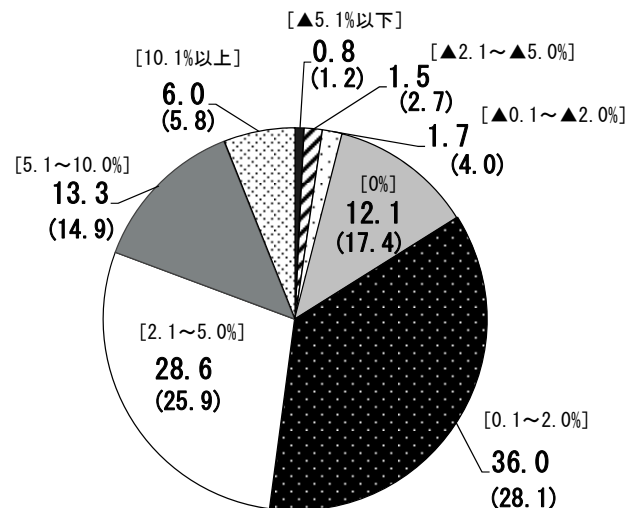
(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。

なお、全サンプルの単純平均値は、+4.2%
(前回調査<2012/12月実施>: +4.0%)

(注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

<今回調査の回答の分布>

()内は前回調査(2012/12月実施)の結果



1-3-4. 物価上昇・下落についての感想

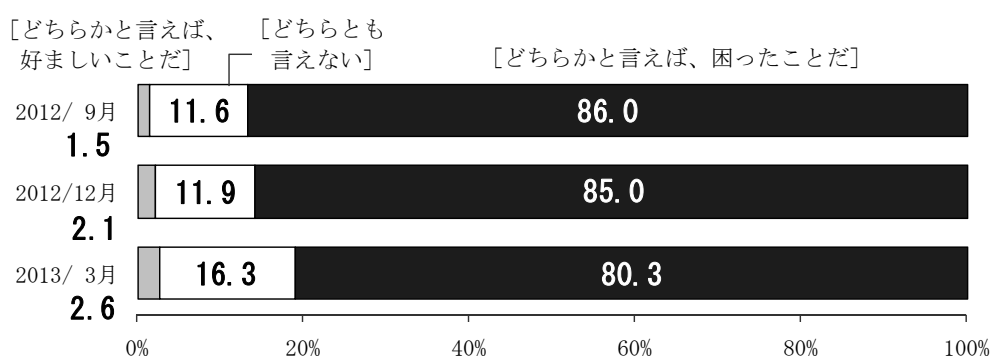
1年前と比べて物価が『上がった』^(注1)と答えた人(4割台後半)に、その感想を聞くと、約8割の人が「どちらかと言えば、困ったことだ」と回答した。

一方、1年前に比べて物価が『下がった』^(注2)と答えた人(1割弱)に、その感想を聞くと、4割台半ばの人が「どちらかと言えば、好ましいことだ」と回答し、2割台前半の人が「どちらかと言えば、困ったことだ」と回答した。

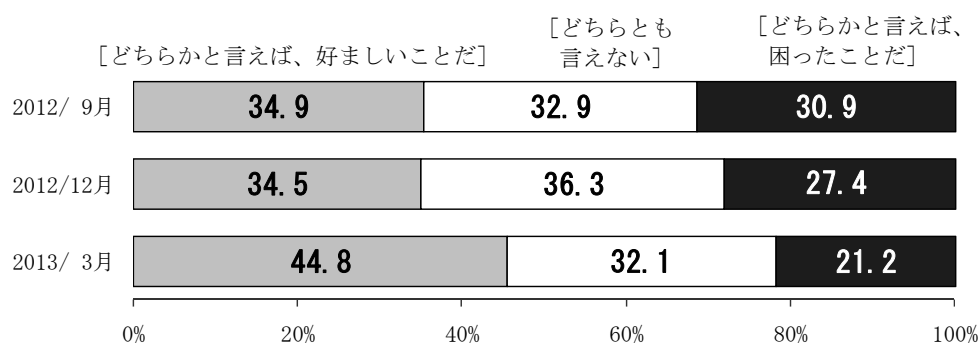
(注1)『上がった』は「かなり上がった」と「少し上がった」の合計。

(注2)『下がった』は「かなり下がった」と「少し下がった」の合計。

(図表11) 物価上昇についての感想 [Q12-a]



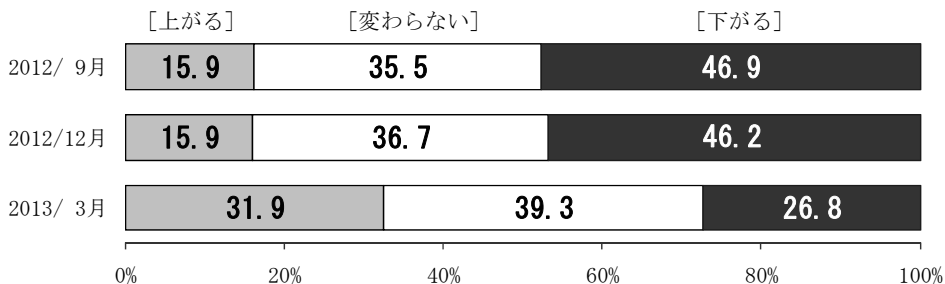
(図表12) 物価下落についての感想 [Q12-b]



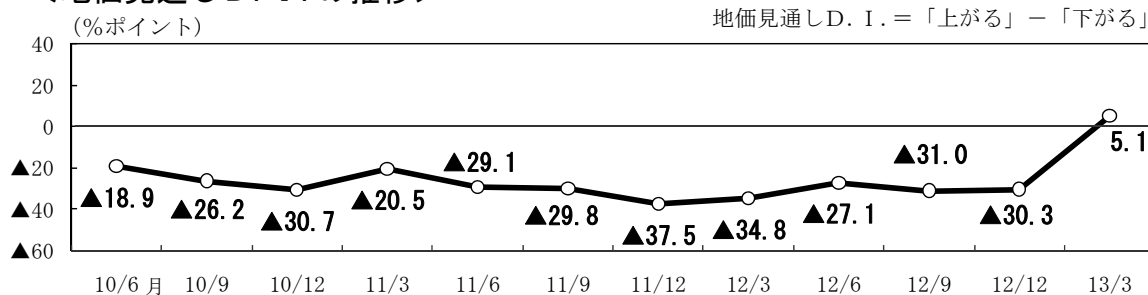
1-4. 先行きの地価動向

先行きの地価については、「上がる」との回答が増加し、「下がる」との回答が減少したことから、地価見通しD. I. はプラスに転化した。

(図表 1 3) 先行きの地価動向に対する見方 [Q18]



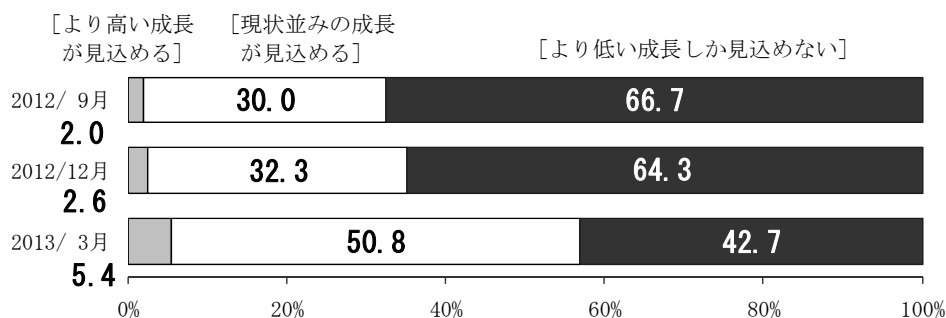
<地価見通しD. I. の推移>



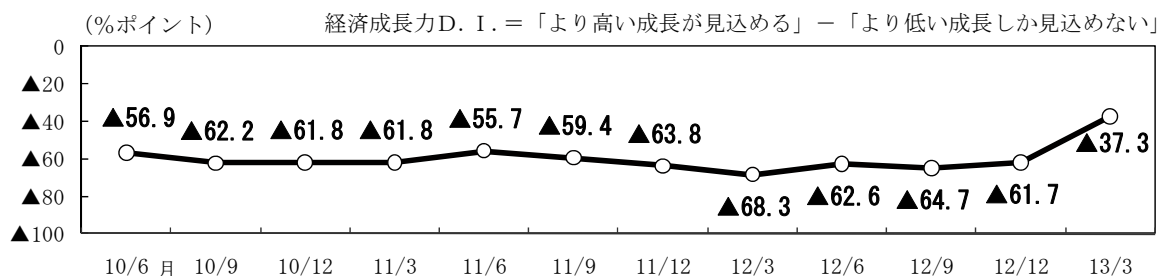
1-5. 日本経済の成長力

日本経済の成長力については、「より高い成長が見込める」との回答が増加し、「より低い成長しか見込めない」との回答が減少したことから、経済成長力D. I. はマイナス幅を縮小した。

(図表 1 4) 日本経済の成長力に対する見方 [Q19]



<経済成長力D. I. の推移>



1-6. 家計の消費行動

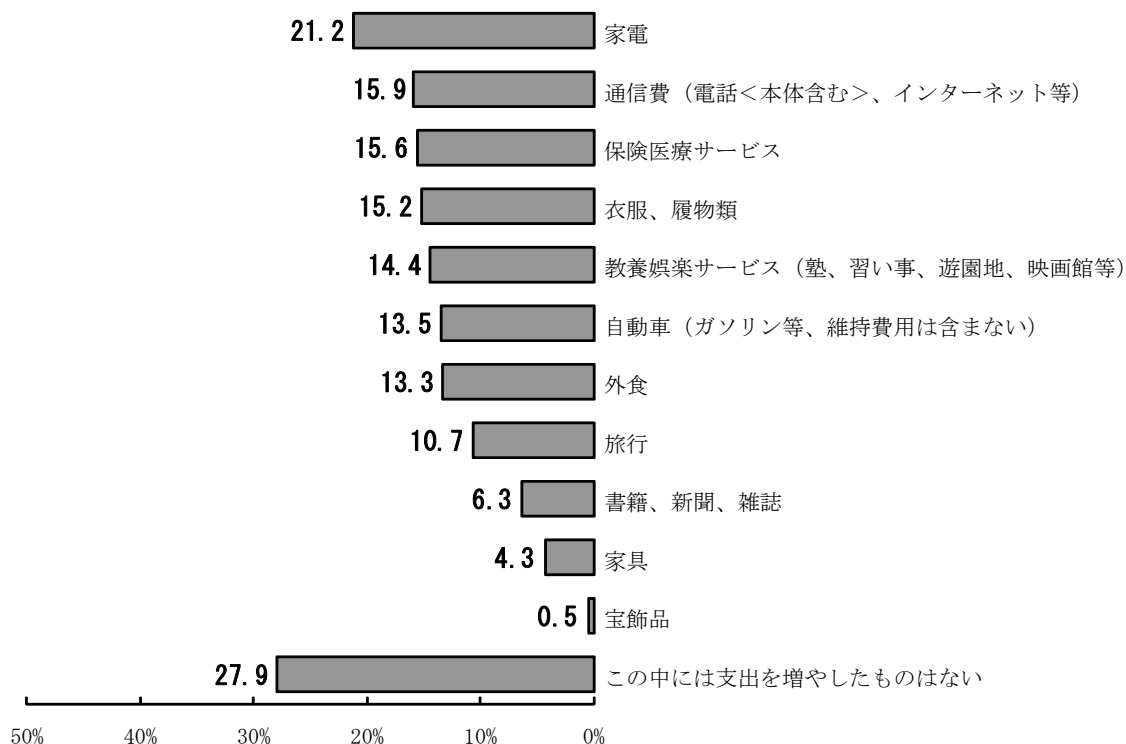
(注) 今回特別に調査。なお、3月および9月調査ではその時々的情勢を踏まえながら個別のテーマに関する調査項目を設定しています。

1-6-1. 1年前と比べて、支出を増やしたものの

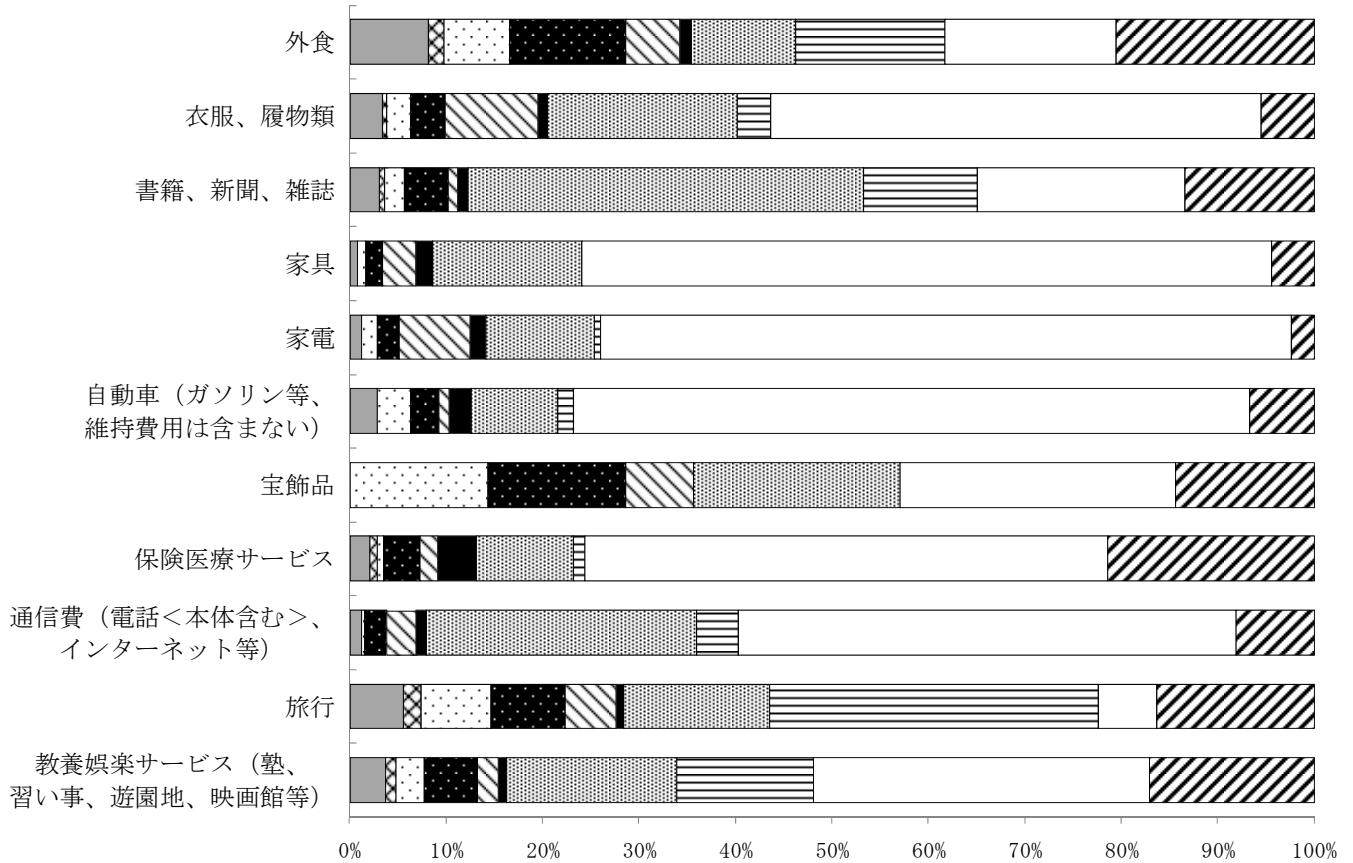
1年前と比べて、支出を増やしたものについては、「家電」との回答が最も多く、次いで「通信費」、「保険医療サービス」、「衣服、履物類」が多かった。

また、支出を増やしたものについて、その理由を聞くと、総じてみれば「必要に迫られたから／買い替え時を迎えたから」、「興味のある商品・サービス（新商品を含む）があったから」といった回答が多かった。

(図表 15) 支出を増やしたものの〔Q21(1)〕(3つまでの複数回答)



(図表 16) 支出を増やした理由 [Q21(2)] (それぞれ3つまでの複数回答)



(注) それぞれの項目に対する有効回答数を 100 としたときの各選択肢の回答比率。

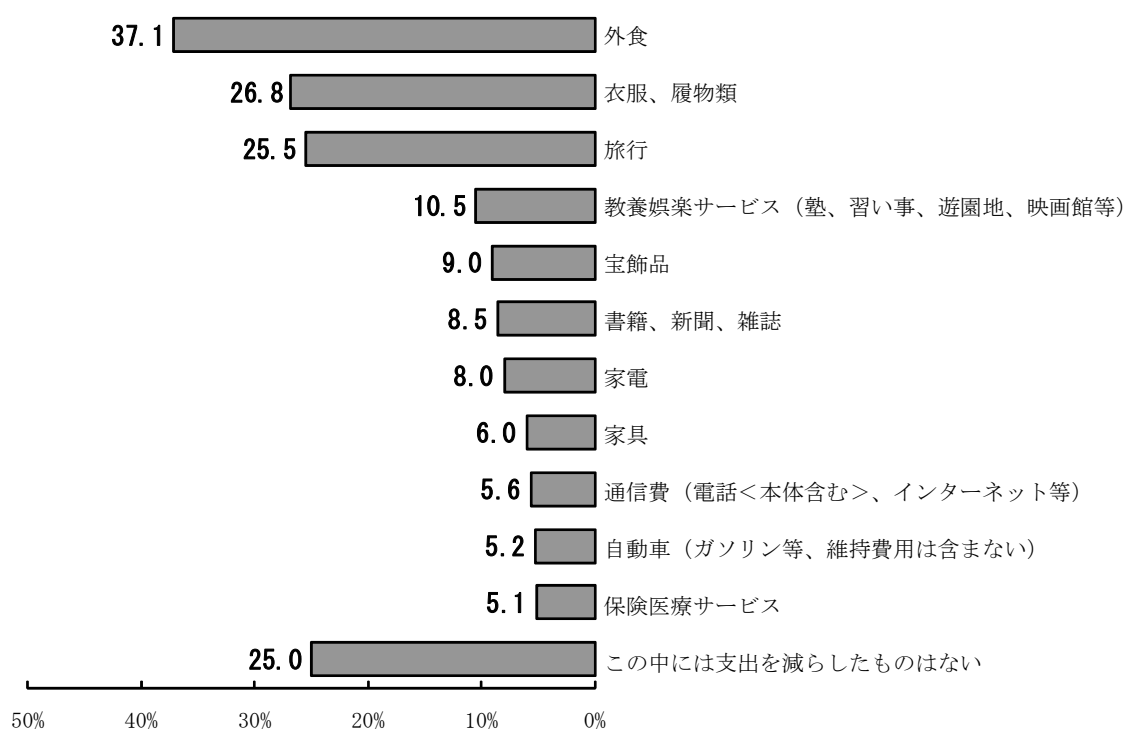
- 収入が増えたから／将来の収入増が見込まれるから
- ▣ 不動産・株式や債券などの保有資産が値上がりしたから
- 貯蓄が十分にあるから／貯蓄が増えたから
- 他の支出が減ったから／他の支出を減らしたから
- ▤ 商品・サービスの価格が下がったから
- 将来の商品・サービスの価格上昇が見込まれるから
- ▨ 興味のある商品・サービス (新商品を含む) があったから
- ▧ 余暇・休暇が増えたから
- 必要に迫られたから／買い替え時を迎えたから
- ▩ その他

1-6-2. 1年前と比べて、支出を減らしたものの

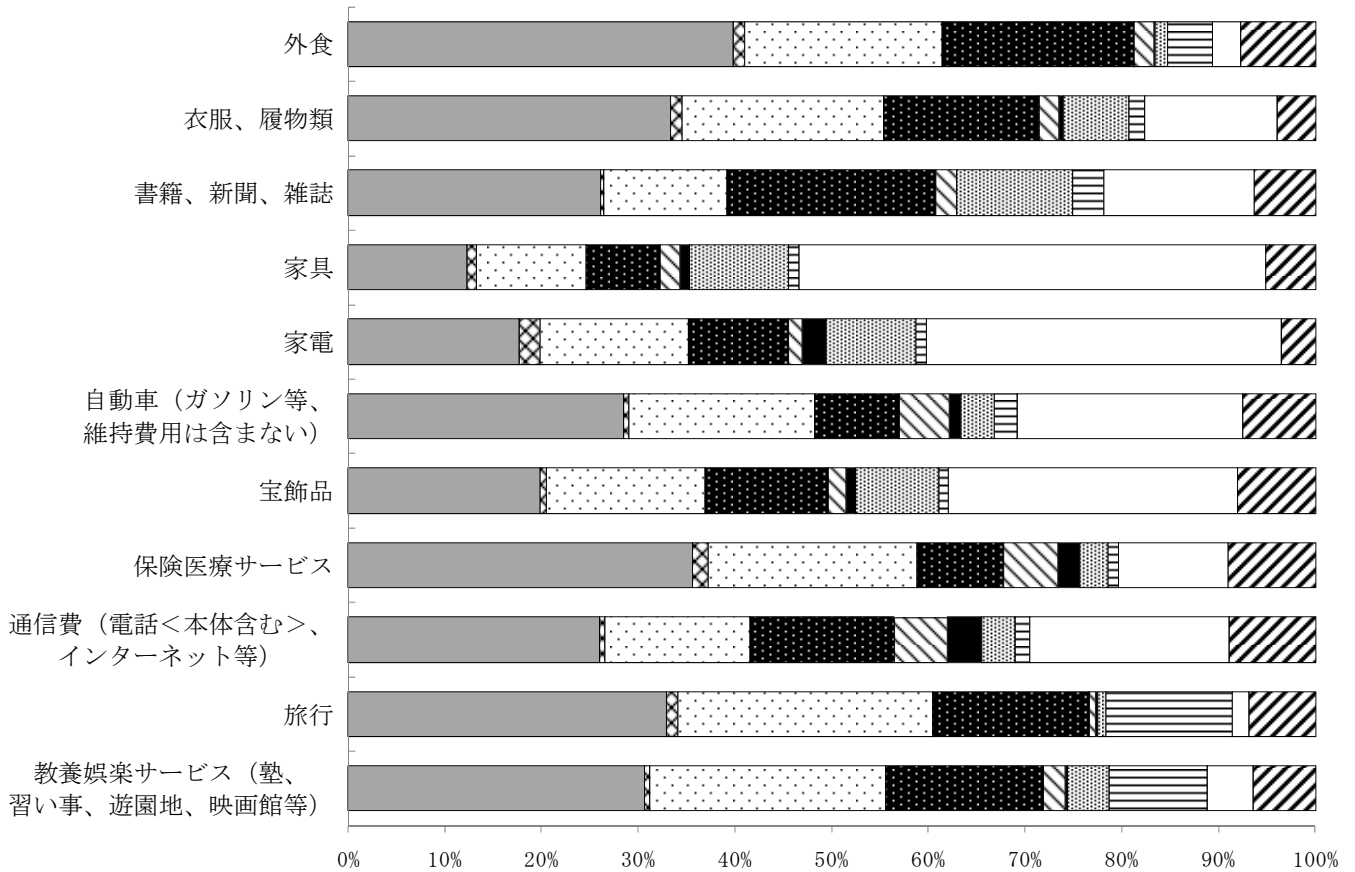
一方、1年前と比べて、支出を減らしたものについては、「外食」との回答が最も多く、次いで「衣服、履物類」、「旅行」が多かった。

また、支出を減らしたものについて、その理由を聞くと、総じてみれば「収入が減ったから／将来の収入減が見込まれるから」、「貯蓄が十分でないから／貯蓄が減ったから」、「必要がなくなったから／既に関替えた・購入したから」といった回答が多かった。

(図表17) 支出を減らしたものの〔Q22(1)〕(3つまでの複数回答)



(図表 18) 支出を減らした理由 [Q22(2)] (それぞれ3つまでの複数回答)



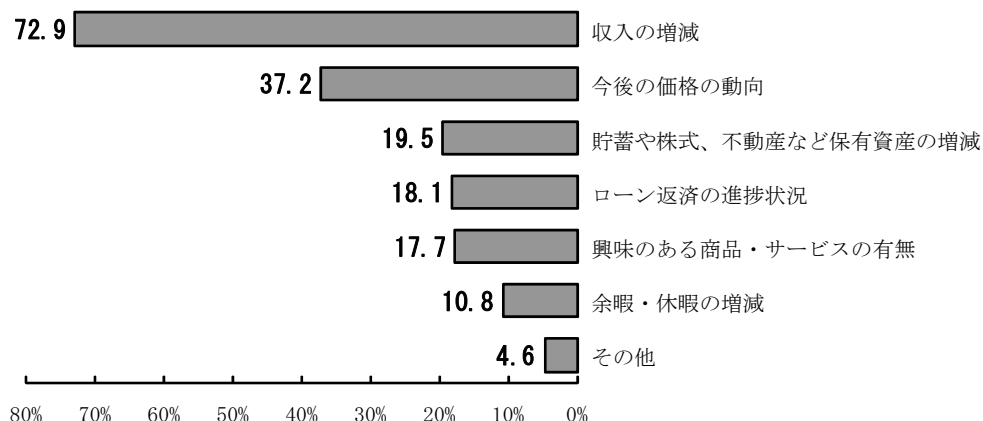
(注) それぞれの項目に対する有効回答数を 100 としたときの各選択肢の回答比率。

- 収入が減ったから／将来の収入減が見込まれるから
- ⊠ 不動産・株式や債券などの保有資産が値下がりしたから
- 貯蓄が十分でないから／貯蓄が減ったから
- 他の支出が増えたから／他の支出を増やしたから
- ▨ 商品・サービスの価格が上がったから
- 将来の商品・サービスの価格下落が見込まれるから
- ▨ 興味のある商品・サービス (新商品を含む) がなかったから
- ▨ 余暇・休暇が減ったから
- 必要がなくなったから／既に関替えた・購入したから
- ▨ その他

1-6-3. 今後1年間の支出を考えるにあたって特に重視すること

今後1年間の支出を考えるにあたって特に重視することは、「収入の増減」との回答が最も多く、次いで「今後の価格の動向」、「貯蓄や株式、不動産など保有資産の増減」といった回答が多かった。

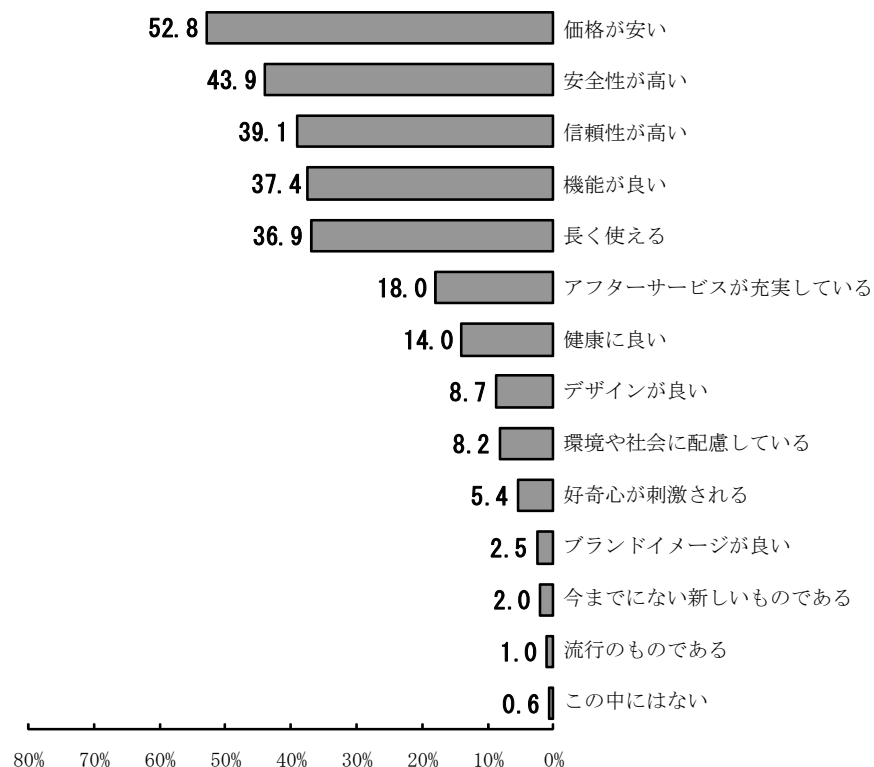
(図表19) 今後1年間の支出を考えるにあたって特に重視すること〔Q23〕
(複数回答)



1-6-4. 商品やサービスを選ぶ際に特に重視すること

商品やサービスを選ぶ際に特に重視することは、「価格が安い」との回答が最も多く、次いで「安全性が高い」、「信頼性が高い」、「機能が良い」、「長く使える」といった回答が多かった。

(図表20) 商品やサービスを選ぶ際に特に重視すること〔Q24〕
(3つまでの複数回答)



1-7. 住宅投資

(注) 今回特別に調査。なお、3月および9月調査ではその時々的情勢を踏まえながら個別のテーマに関する調査項目を設定しています。

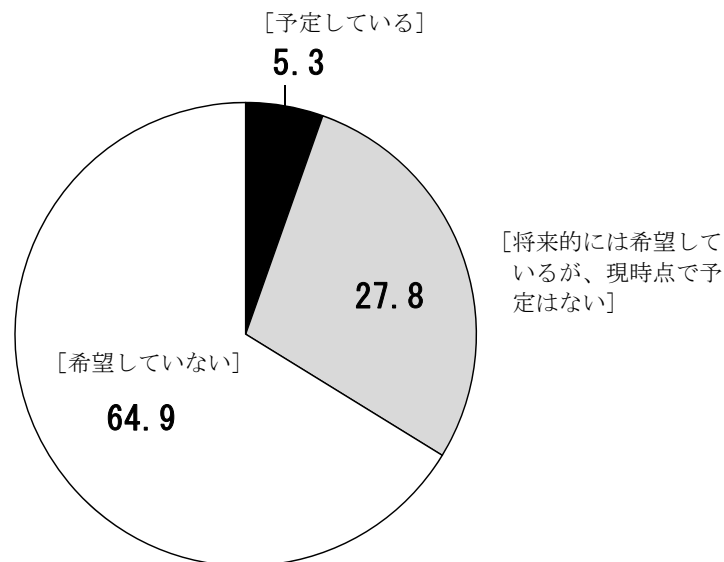
1-7-1. 住まいの建築・建て替え・購入の予定、希望の有無

今後、住まいの建築・建て替え・購入を「予定している」との回答は約5%となり、「将来的には希望しているが、現時点で予定はない」との回答は2割台後半、「希望していない」との回答は6割台半ばとなった。

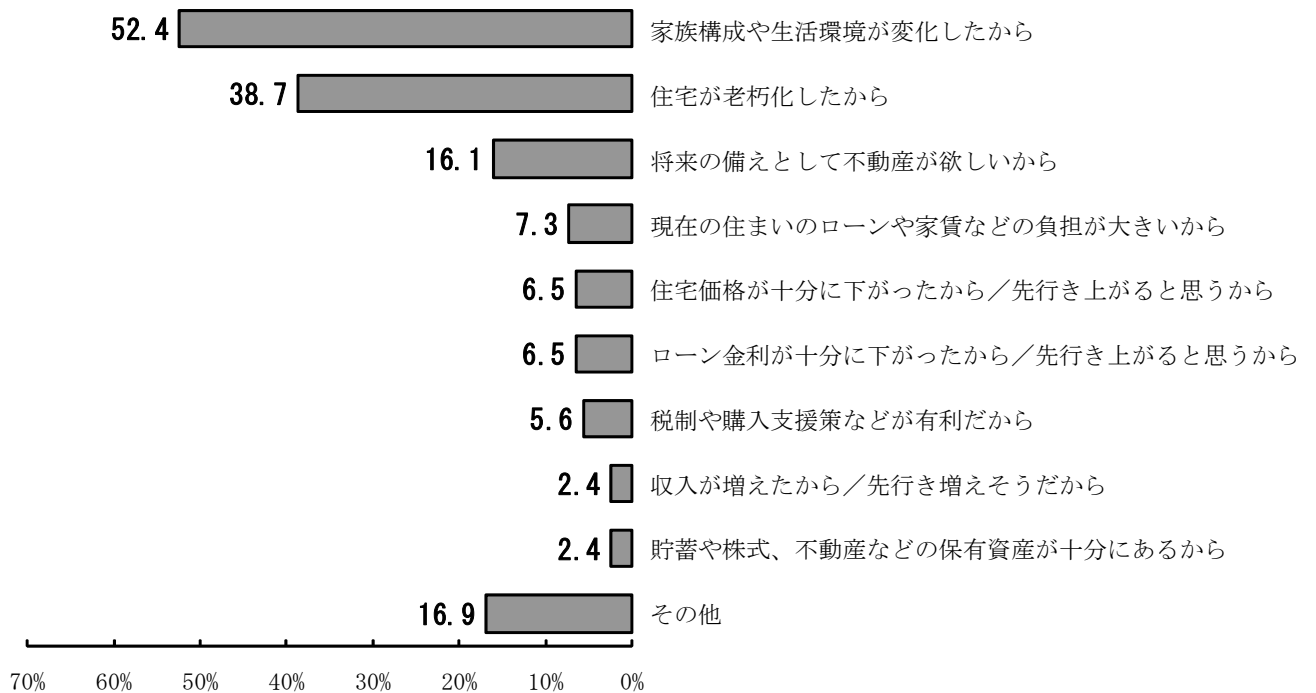
住まいの建築・建て替え・購入を「予定している」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「家族構成や生活環境が変化したから」、「住宅が老朽化したから」、「将来の備えとして不動産が欲しいから」といった回答が多かった。

一方、住まいの建築・建て替え・購入を「将来的には希望しているが、現時点で予定はない」と答えた人および「希望していない」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「家族構成や生活環境に変化がないから／将来変化する可能性があるから」、「将来の生活に不安があるから」、「立地や間取り、設備など現在の住まいに満足しているから」といった回答が多かった。

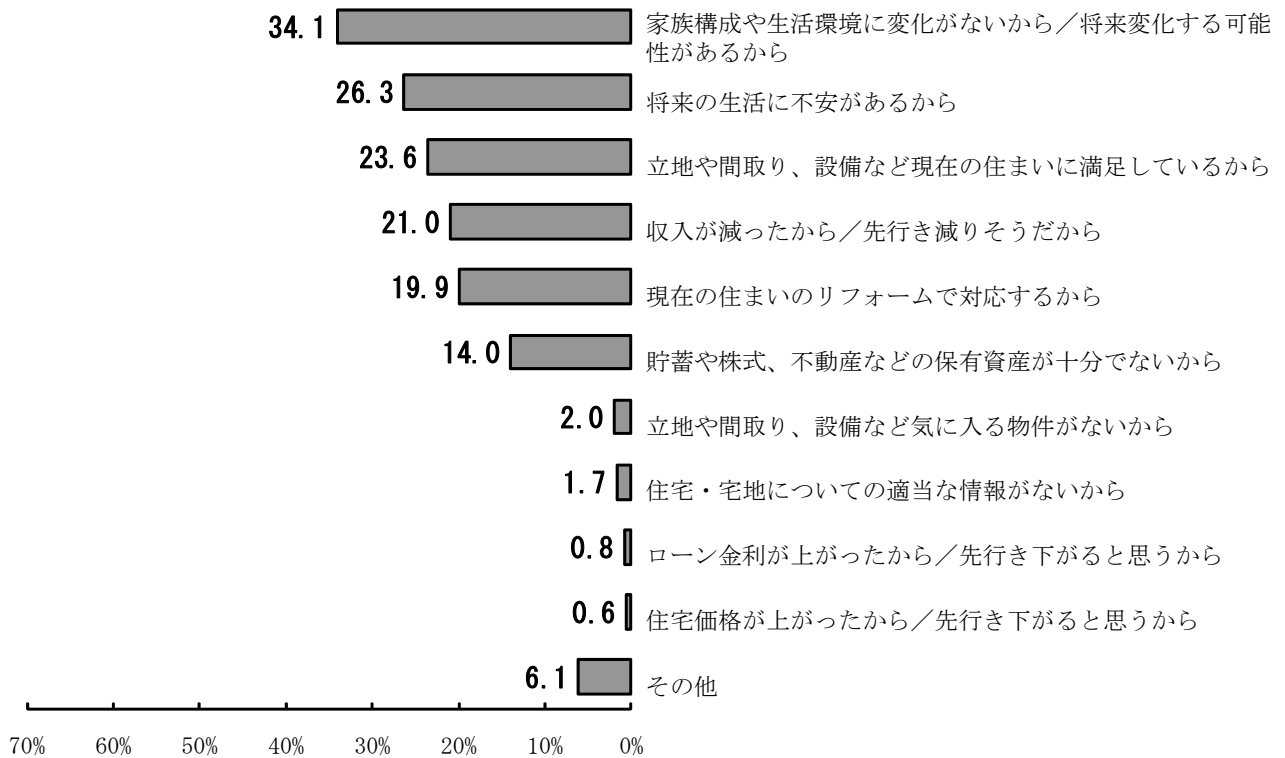
(図表 2 1) 住まいの建築・建て替え・購入の予定、希望の有無 [Q26]



(図表 2 2) 建築・建て替え・購入を「予定している」理由〔Q26-a〕(複数回答)



(図表 2 3) 建築・建て替え・購入を「将来的には希望しているが、現時点で予定はない」「希望していない」理由〔Q26-b〕(複数回答)



2. 集計対象標本の属性分布

(構成比：%、母集団対比：%ポイント)

	2013/3月調査 (A)	母集団 ^(注) (B)	母集団対比 (A) - (B)	抽出標本 (参考値)
--	------------------	---------------------------	--------------------	---------------

(性別構成)

男 性	48.0	48.3	▲ 0.3	49.6
女 性	52.0	51.7	0.3	50.4

(年齢別構成)

20～29歳	9.8	12.9	▲ 3.1	12.3
30～39歳	14.6	16.9	▲ 2.3	16.5
40～49歳	18.0	16.6	1.4	17.6
50～59歳	17.0	15.0	2.0	15.2
60～69歳	21.3	17.5	3.8	17.7
70歳以上	19.3	21.1	▲ 1.8	20.8

(地域別構成)

北海道	3.7	4.4	▲ 0.7	4.1
東 北	7.6	7.3	0.3	7.5
関 東	34.2	33.3	0.9	32.9
北 陸	4.5	4.3	0.2	4.1
中 部	14.4	14.0	0.4	14.3
近 畿	17.2	16.2	1.0	16.5
中 国	5.5	5.9	▲ 0.4	6.0
四 国	2.9	3.2	▲ 0.3	3.0
九 州	10.2	11.4	▲ 1.2	11.6

(注) 住民基本台帳に記録された2012年3月31日現在の市区町村別人口による。

3. アンケート調査結果の詳細

「生活意識に関するアンケート調査」(第53回) —— 2013年3月調査 ——

・選択肢ごとに付記した数値は、有効回答者数を100としたときの各選択肢の回答比率(単位%、小数点以下第2位を四捨五入)。
・回答は、特に断りのない限り、択一。
・四捨五入等の関係から、択一回答項目についても、その回答比率の合計は必ずしも100とはならない。
・()内の数値は、特に断りのない限り、前回調査結果(第52回、2012年12月実施)。

- Q1. 1年前と比べて、今の景気はどう変わりましたか。**
- | | |
|---------|---------------|
| 1 良くなった | 6.6 (1.6) |
| 2 変わらない | 63.7 (45.6) |
| 3 悪くなった | 29.2 (52.2) |
- Q2. Q1のご回答について、そのようにお考えになるのは、主にどのようなことからですか。
【2つまでの複数回答】**
- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 マスコミ報道を通じて | 25.4 (31.5) |
| 2 景気関連指標、経済統計をみて | 9.3 (12.7) |
| 3 勤め先や自分の店の経営状況から | 34.5 (35.6) |
| 4 自分や家族の収入の状況から | 55.8 (48.9) |
| 5 商店街、繁華街などの混み具合をみて | 24.8 (25.6) |
| 6 その他 | 3.6 (3.5) |
- Q3. 現在の景気をどう感じますか。**
- | | |
|---------------|---------------|
| 1 良い | 0.4 (0.1) |
| 2 どちらかと言えば、良い | 4.9 (1.4) |
| 3 どちらとも言えない | 30.7 (17.2) |
| 4 どちらかと言えば、悪い | 44.4 (51.6) |
| 5 悪い | 19.2 (29.6) |
- Q4. 1年後の景気は、今と比べてどうなると思いますか。**
- | | |
|---------|---------------|
| 1 良くなる | 24.1 (4.5) |
| 2 変わらない | 57.9 (57.7) |
| 3 悪くなる | 17.3 (37.6) |
- Q5. 景気の状態を考えたとき、現在の金利水準をどのようにお考えになりますか。**
- | | |
|------------|---------------|
| 1 金利が低すぎる | 54.0 (50.3) |
| 2 適当な水準である | 31.3 (35.2) |
| 3 金利が高すぎる | 11.4 (11.5) |
- Q6. 1年前と比べて、あなたの暮らし向きがどう変わったと感じますか。**
- | | |
|---------------|---------------|
| 1 ゆとりが出てきた | 4.3 (3.3) |
| 2 どちらとも言えない | 50.4 (46.0) |
| 3 ゆとりがなくなってきた | 45.0 (50.4) |

Q6-a. (Q6で1「ゆとりが出てきた」と答えた方へ)
その理由は次のうちどれですか。【複数回答】

1 給与や事業などの収入が増えたから	62.7	(57.1)
2 利子や配当などの収入が増えたから	3.9	(3.9)
3 不動産の売却などの収入があったから	1.0	(1.3)
4 物価が下がったから	6.9	(13.0)
5 不動産・株式などの資産の価格が上がったから	8.8	(0.0)
6 扶養家族が減ったから	16.7	(15.6)
7 その他	17.6	(27.3)

Q6-b. (Q6で3「ゆとりがなくなってきた」と答えた方へ)
その理由は次のうちどれですか。【複数回答】

1 給与や事業などの収入が減ったから	65.6	(62.1)
2 利子や配当などの収入が減ったから	13.6	(16.9)
3 不動産の購入などの支出があったから	3.8	(4.2)
4 物価が上がったから	31.2	(27.7)
5 不動産・株式などの資産の価格が下がったから	7.0	(11.0)
6 扶養家族が増えたから	9.5	(8.8)
7 その他	20.2	(21.0)

Q7. 1年前と比べて、あなたの世帯の収入はどう変わりましたか。

1 増えた	7.2	(6.8)
2 変わらない	46.9	(44.5)
3 減った	45.6	(48.3)

Q8. 1年後のあなたの世帯の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。

1 増える	9.5	(5.5)
2 変わらない	53.1	(49.6)
3 減る	37.0	(44.6)

Q9. 1年前と比べて、あなたの世帯の支出はどう変わりましたか。

1 増えた	32.6	(31.6)
2 変わらない	43.8	(44.3)
3 減った	21.9	(23.2)

Q9-a. (Q9で1「増えた」と答えた方へ)
支出が増えたのはなぜですか。【複数回答】

1 収入が増えたから	4.4	(4.8)
2 将来の収入増が見込まれるから	2.6	(1.4)
3 不動産など実物資産が値上がりしたから	1.6	(1.1)
4 株式や債券などの金融資産が値上がりしたから	0.4	(0.5)
5 住宅など不動産を購入したから	5.5	(7.8)
6 車など耐久消費財を購入したから	21.0	(24.7)
7 扶養家族の増加などに伴う支出があったから	28.5	(28.8)
8 生活関連の物やサービスの値段が上がったから	46.0	(43.2)
9 その他	25.9	(27.0)

Q9-b. (Q9で3「減った」と答えた方へ)
支出が減ったのはなぜですか。【複数回答】

1 収入が減ったから	75.1	(72.8)
2 将来の収入増が見込まれないから	47.4	(48.1)
3 不動産など実物資産が値下がりしたから	5.4	(5.2)
4 株式や債券などの金融資産が値下がりしたから	5.2	(8.4)
5 扶養家族の減少などに伴い支出が減ったから	9.7	(9.5)
6 その他	7.8	(10.3)

Q10-1. Q9の支出のうち、あなたの世帯では、生活費や教育費などの日常的な支出をどうしていますか。

1 増やしている	9.6 (9.5)
2 変えていない	55.1 (53.8)
3 減らしている	33.7 (35.4)

Q10-2. それでは、趣味やレジャーなど選択的な支出をどうしていますか。

1 増やしている	5.2 (4.5)
2 変えていない	37.7 (38.6)
3 減らしている	56.2 (56.1)

Q11. 今後1年間、あなたの世帯では支出をどうされますか。

1 増やす	4.8 (4.6)
2 変えない	45.8 (40.5)
3 減らす	48.7 (54.4)

Q12. 次に「物価」についておうかがいします。

あなたご自身の感じでは、「物価」は1年前と比べてどう変わりましたか
(「物価」とは、あなたが購入される物やサービスの価格全体のことで)。

1 かなり上がった	4.9 (4.9)
2 少し上がった	41.7 (33.6)
3 ほとんど変わらない	43.2 (46.8)
4 少し下がった	8.2 (12.9)
5 かなり下がった	0.8 (1.3)

Q12-a. (Q12で1または2『上がった』と答えた方へ)
「物価」が上がったことをどのように思いますか。

1 どちらかと言えば、好ましいことだ	2.6 (2.1)
2 どちらかと言えば、困ったことだ	80.3 (85.0)
3 どちらとも言えない	16.3 (11.9)

Q12-b. (Q12で4または5『下がった』と答えた方へ)
「物価」が下がったことをどのように思いますか。

1 どちらかと言えば、好ましいことだ	44.8 (34.5)
2 どちらかと言えば、困ったことだ	21.2 (27.4)
3 どちらとも言えない	32.1 (36.3)

Q13. それでは、1年前に比べ現在の「物価」は何%程度変わったとご思いますか。

—— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がった
() %
下がった
平均値^(注1) : +2.6 (+2.0)
中央値^(注2) : 0.2 (0.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。

—— 全サンプルの単純平均値は +2.7 (前回調査<2012/12月実施> : +2.1)。

(注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

- Q14. 1年後の「物価」は、現在と比べるとどうなると思いますか。
- | | | |
|-------------|------|----------|
| 1 かなり上がる | 10.4 | (6.3) |
| 2 少し上がる | 63.8 | (46.7) |
| 3 ほとんど変わらない | 21.4 | (38.0) |
| 4 少し下がる | 3.3 | (7.2) |
| 5 かなり下がる | 0.6 | (0.5) |

- Q15. それでは、1年後の「物価」は現在と比べ何%程度変わると思いますか。
 —— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がる
 () %
 下がる

平均値^(注1) : +4.0 (+3.0)
 中央値^(注2) : +3.0 (+1.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 —— 全サンプルの単純平均値は +4.1 (前回調査<2012/12月実施> : +3.1)。
 (注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

- Q16. 5年後の「物価」は、現在と比べるとどうなると思いますか。
- | | | |
|-------------|------|----------|
| 1 かなり上がる | 28.0 | (22.3) |
| 2 少し上がる | 53.6 | (50.3) |
| 3 ほとんど変わらない | 11.9 | (17.5) |
| 4 少し下がる | 3.7 | (6.6) |
| 5 かなり下がる | 0.8 | (1.3) |

- Q17. それでは、5年後の「物価」は現在と比べ毎年、平均何%程度変わると思いますか。
 —— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がる
 毎年、平均 () %
 下がる

平均値^(注1) : +4.0 (+3.8)
 中央値^(注2) : +2.0 (+2.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 —— 全サンプルの単純平均値は +4.2 (前回調査<2012/12月実施> : +4.0)。
 (注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

- Q18. 先行きの土地の価格（地価）はどうなると思いますか。
- | | | |
|---------|------|----------|
| 1 上がる | 31.9 | (15.9) |
| 2 変わらない | 39.3 | (36.7) |
| 3 下がる | 26.8 | (46.2) |

- Q19. 長い目で見たとき、日本経済の成長力について、どう思いますか。
- | | | |
|-----------------|------|----------|
| 1 より高い成長が見込める | 5.4 | (2.6) |
| 2 現状並みの成長が見込める | 50.8 | (32.3) |
| 3 より低い成長しか見込めない | 42.7 | (64.3) |

- Q20. これから1年後を見たとき、あなた（またはご家族）は、勤め先での雇用・処遇（給与、ポスト、福利厚生など）に不安を感じますか。

		うち勤労者 ^(注)
1 あまり感じない	14.4	(14.0) 14.2 (15.5)
2 少し感じる	50.2	(44.6) 50.3 (42.1)
3 かなり感じる	33.5	(39.6) 35.4 (42.3)

(注) 勤労者：会社員・公務員（会社役員を含む）およびパート・アルバイトなど。

以降のQ21～24は家計の消費行動に関する質問、Q25～26-bは住宅投資に関する質問です。
 (注) 今回特別に調査。なお、3月および9月調査ではその時々々の情勢を踏まえながら
 個別のテーマに関する調査項目を設定しています。

- Q21. (1) 1年前と比べて、あなたの世帯で支出を増やしたものを3つまで選び、(1)欄の番号に○を
 して下さい。
 ※支出を増やしたものが1つもない場合は、「12 この中には支出を増やしたものはなし」を
 選び、Q22にお進み下さい。
- (2) (1)で選んだものそれぞれについて、その支出を増やした理由を教えてください。それぞれ
 について3つまでお選び下さい。

Q21. (1) 支出を増やしたもの【3つまでの複数回答】		Q21. (2) 支出を増やした理由【3つまでの複数回答】									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		収入が増えたから 見込まれる収入増が	不動産・株式や債券などの保有資産が 値上がりしたか	貯蓄が十分にあるから 増えたか	他の支出が減ったから 減らしたか	商品・サービスの価格が下がったから	将来の商品・サービスの価格上昇が見込まれるから	興味のある商品・サービス(含む)があつたから	余暇・休暇が増えたから	必要に迫られたから 買い替えたから	その他
1	13.3	11.6	2.3	9.6	17.0	8.0	1.6	15.4	21.9	25.1	28.9
2	15.2	4.8	0.6	3.4	5.1	13.5	1.4	27.5	4.8	71.3	7.6
3	6.3	4.0	0.7	2.7	6.0	1.3	1.3	53.7	15.4	28.2	17.4
4	4.3	1.0	0.0	1.0	2.0	4.0	2.0	18.0	0.0	83.0	5.0
5	21.2	1.6	0.0	2.0	2.8	9.2	2.0	14.1	0.8	89.6	2.8
6	13.5	3.5	0.0	4.1	3.5	1.3	2.8	10.8	1.9	84.5	7.9
7	0.5	0.0	0.0	16.7	16.7	8.3	0.0	25.0	0.0	33.3	16.7
8	15.6	2.5	0.8	0.8	4.4	2.2	4.6	11.7	1.4	63.2	24.8
9	15.9	1.6	0.0	0.3	2.9	3.8	1.3	34.9	5.4	64.3	9.9
10	10.7	8.3	2.8	10.7	11.5	7.9	1.2	22.6	50.8	9.1	24.2
11	14.4	5.0	1.5	3.8	7.4	2.9	1.2	23.6	18.9	46.6	22.7
12	27.9										

- Q22. (1) 1年前と比べて、あなたの世帯で支出を減らしたものを3つまで選び、(1)欄の番号に○をして下さい。
 ※支出を減らしたものが1つもない場合は、「12 この中には支出を減らしたものはなし」を選び、Q23にお進み下さい。
- (2) (1)で選んだものそれぞれについて、その支出を減らした理由を教えてください。それぞれについて3つまでお選び下さい。

Q22. (1) 支出を減らしたもの【3つまでの複数回答】	
1	37.1
2	26.8
3	8.5
4	6.0
5	8.0
6	5.2
7	9.0
8	5.1
9	5.6
10	25.5
11	10.5
12	25.0

Q22. (2) 支出を減らした理由【3つまでの複数回答】										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
収入が減ったから／将来の見込まれる収入減が	不動産・株式や債券などの値下がりがりしたか資産が	貯蓄が十分でないから減ったか貯蓄が	他の支出が増えたから増やしたか	商品・サービスの価格が上がったから	将来の商品・サービスの価格下落が見込まれるから	興味のある商品・サービス(含む)がなかったから	余暇・休暇が減ったから	買い替えた・購入したから	必要がなくなったから	その他
59.3	1.7	30.3	29.5	3.1	0.1	2.0	6.9	4.3	11.5	
50.6	1.7	31.6	24.3	3.2	0.6	10.2	2.5	20.8	6.0	
37.0	0.5	18.0	30.5	3.0	0.0	17.0	4.5	22.0	9.0	
17.0	1.4	15.6	10.6	2.8	1.4	14.2	1.4	66.7	7.1	
26.7	3.2	23.0	15.5	2.1	3.7	13.9	1.6	55.1	5.3	
39.8	0.8	26.8	12.2	7.3	1.6	4.9	3.3	32.5	10.6	
30.2	0.9	25.0	19.3	2.8	1.4	13.2	1.4	45.3	12.3	
52.5	2.5	31.7	13.3	8.3	3.3	4.2	1.7	16.7	13.3	
39.4	0.8	22.7	22.7	8.3	5.3	5.3	2.3	31.1	13.6	
49.2	1.7	39.2	24.2	1.0	0.3	1.2	19.5	2.7	10.2	
46.7	0.8	37.0	24.8	3.3	0.4	6.5	15.4	7.3	9.8	

- Q23. あなたの世帯が今後1年間の支出を考えるにあたって特に重視することは、次のうちどれですか。【複数回答】**
- | | |
|----------------------|------|
| 1 収入の増減 | 72.9 |
| 2 貯蓄や株式、不動産など保有資産の増減 | 19.5 |
| 3 ローン返済の進捗状況 | 18.1 |
| 4 今後の価格の動向 | 37.2 |
| 5 余暇・休暇の増減 | 10.8 |
| 6 興味のある商品・サービスの有無 | 17.7 |
| 7 その他 | 4.6 |
- Q24. あなたの世帯が商品やサービスを選ぶ際に特に重視することは、次のうちどれですか。【3つまでの複数回答】**
- | | |
|--------------------|------|
| 1 価格が安い | 52.8 |
| 2 安全性が高い | 43.9 |
| 3 信頼性が高い | 39.1 |
| 4 機能が良い | 37.4 |
| 5 長く使える | 36.9 |
| 6 環境や社会に配慮している | 8.2 |
| 7 デザインが良い | 8.7 |
| 8 流行のものである | 1.0 |
| 9 今までにない新しいものである | 2.0 |
| 10 アフターサービスが充実している | 18.0 |
| 11 好奇心が刺激される | 5.4 |
| 12 健康に良い | 14.0 |
| 13 ブランドイメージが良い | 2.5 |
| 14 この中にはない | 0.6 |
- Q25. 現在どのような住居にお住まいですか。**
- | | |
|---------------------|------|
| 1 戸建（持家） | 66.8 |
| 2 マンション・アパート（持家） | 9.3 |
| 3 戸建（賃貸） | 3.2 |
| 4 マンション・アパート（賃貸） | 14.1 |
| 5 社宅・官舎・寮 | 2.1 |
| 6 下宿・間借り（親族との同居を含む） | 2.5 |
| 7 その他 | 1.4 |
- Q26. 今後、お住まいの建築・建て替え・購入のご予定・ご希望はありますか。※リフォームは含めずにお答え下さい。**
- | | |
|--------------------------|------|
| 1 予定している | 5.3 |
| 2 将来的には希望しているが、現時点で予定はない | 27.8 |
| 3 希望していない | 64.9 |
- Q26-a. (Q26で、建築・建て替え・購入を「予定している」と答えた方へ) その理由は何ですか。【複数回答】**
- | | |
|-------------------------------|------|
| 1 家族構成や生活環境が変化したから | 52.4 |
| 2 住宅が老朽化したから | 38.7 |
| 3 収入が増えたから/先行き増えそうだから | 2.4 |
| 4 貯蓄や株式、不動産などの保有資産が十分にあるから | 2.4 |
| 5 住宅価格が十分に下がったから/先行き上がると思うから | 6.5 |
| 6 ローン金利が十分に下がったから/先行き上がると思うから | 6.5 |
| 7 将来の備えとして不動産が欲しいから | 16.1 |
| 8 税制や購入支援策などが有利だから | 5.6 |
| 9 現在の住まいのローンや家賃などの負担が大きいから | 7.3 |
| 10 その他 | 16.9 |

Q26-b. (Q26で、建築・建て替え・購入を「将来的には希望しているが、現時点で予定はない」、「希望していない」と答えた方へ)

その理由は何ですか。【複数回答】

1 家族構成や生活環境に変化がないから/将来変化する可能性があるから	34.1
2 立地や間取り、設備など現在の住まいに満足しているから	23.6
3 収入が減ったから/先行き減りそうだから	21.0
4 貯蓄や株式、不動産などの保有資産が十分でないから	14.0
5 住宅価格が上がったから/先行き下がると思うから	0.6
6 ローン金利が上がったから/先行き下がると思うから	0.8
7 将来の生活に不安があるから	26.3
8 住宅・宅地についての適当な情報がないから	1.7
9 立地や間取り、設備など気に入る物件がないから	2.0
10 現在の住まいのリフォームで対応するから	19.9
11 その他	6.1

最後に、あなたご自身のことやご家族のことについて全員にお尋ねします。立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を統計的に分析するために欠かすことができませんので、ご理解のうえ、ご回答のほどお願いいたします。

Q27. あなたの性別は次のどちらですか。

1 男性	48.0 (49.0)
2 女性	52.0 (51.0)

Q28. あなたの年齢（満年齢）は次のどれにあてはまりますか。

1 20～29歳	9.8 (10.4)
2 30～39歳	14.6 (15.6)
3 40～49歳	18.0 (17.1)
4 50～59歳	17.0 (16.1)
5 60～69歳	21.3 (20.8)
6 70歳以上	19.3 (20.1)

Q29. あなたのご職業は次のどれにあてはまりますか。

1 農林漁業	2.1 (1.9)
2 自営業・自由業	9.7 (9.0)
3 常雇（会社員・公務員など<会社役員を含む>）	34.5 (34.5)
4 臨時・日雇（パート・アルバイト）	14.9 (15.6)
5 上記1～4以外（主婦、学生、年金生活者、無職など）	38.1 (38.6)

Q30. あなたご自身および配偶者の昨年1年間の合計収入（税込）は、次のどの区分に入りますか。ただし、退職金、義援金や土地の売却代金など一時的な収入は除き、年金は含めて下さい。

1 1円～300万円未満	36.1 (39.4)
2 300万円～500万円未満	30.0 (29.3)
3 500万円～1,000万円未満	23.9 (22.0)
4 1,000万円以上	5.9 (5.3)
5 収入はない	3.1 (3.0)

Q31. 現在一緒に住んでいるご家族の構成は次のどれにあてはまりますか。

1 単身世帯（一人暮らし）	9.6 (10.6)
2 1世代世帯（夫婦のみ）	25.7 (26.6)
3 2世代世帯（親と子供の世帯）	51.4 (48.8)
4 3世代世帯（祖父母と親と子の世帯）	10.4 (10.8)
5 その他の世帯（兄弟姉妹のみ、友人同士、祖父母と孫など）	2.3 (2.6)

日本銀行の政策や活動について、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

1 記入あり	18.6 (19.5)
2 記入なし	81.4 (80.5)